



2019年、平成もいよいよ終わりが近づいてきました。新しい年号がそろそろ気になりますよね。そんな中、すかはらライフケア通信は今号で10回目を迎えます。記念すべきvol.10では、ライフケア通信で以前ご紹介したあの商品をリメイク版として、すかはら式介護住宅改修 Before⇒After と合わせてピックアップしたいと思えます!!

水洗ポータブルトイレ



- ・排水は、ホースが汚水桝まで直接運ぶので、バケツ交換不要常に清潔!
- ・においも残らない!
- ・強力なポンプ圧で排水するので、“詰まり”が起こりにくい!

今までのポータブルトイレだと…

- ・使用後、どうしても部屋に匂いが残ってしまう……
- ・バケツの交換、洗浄が大変……

水洗ポータブルできれいに解決!
介護に余裕がうまれます 支える方には大切なこと



	価格	利用者負担額(1割)
水洗ポータブルトイレ(特定福祉用具)	100,000円	10,000円
排水ポンプ(自費レンタル)	4,000円/月	4,000円/月
接続工事費(自費)	要相談 (50,000円前後)	

[水洗ポータブルトイレ施工の事例]



裏面では住宅リフォームと合わせた水洗ポータブルトイレの設置事例を紹介します!!



すがはら式 介護住宅リフォームの事例紹介♪



手すりの取付けは居宅介護住宅改修費に該当
簡易トイレとは思えないレベルの仕上がり



(外側) 外の給水管から接続



(内側) 右サッシを追加設置



既存サッシはそのまま
二重サッシの断熱効果
スピード施工も可能

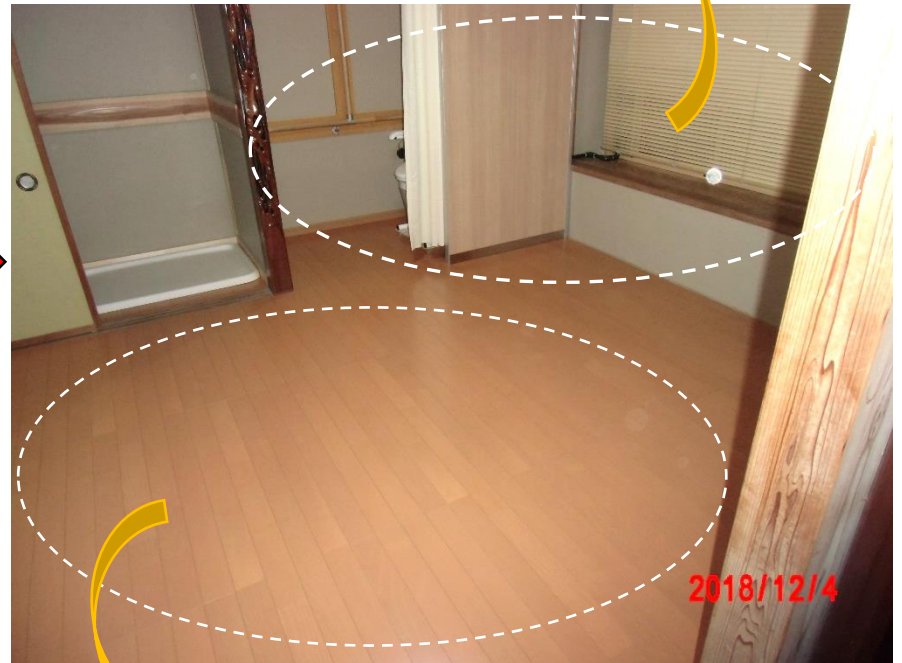
外の給水管から接続
設置後、利用者様の生活の変化等に対応するため
取外しが簡易にできるように工夫
外壁等に穴を開けず設置
パネル・カーテンでプライバシー保持
何気ないプライバシーとても大切なことです

《after》 なんとということでしょう!!

《before》



ご利用者様のご要望
心臓に病気があり、寒暖差を無くしたい
トイレまで遠く行き来が大変
寝起きをスムーズに出来るよう
ベットを設置したい



床材を畳からフローリングへ
居宅介護住宅改修費に該当
断熱材を入れ熱効率UP
寒暖差を抑えます
ベットの設置や車椅子対応
も可能になりました



冷えは足元からトイレ部分
の断熱もしっかりカバー

弊社ではプロの建築士(1級建築士)が施工・管理をしております。単に建築のプロということではなく
福祉住環境コーディネーターの資格を保持しているものが担当となり、ご提案させて頂いております。
手すりの設置や床材の変更など取替え設置することは簡単であり誰にでもできます。
大切なのは、なぜそれが必要なのかというご利用者様の真の潜在ニーズに応えることです。
他者から見ると「えっ!？」と思えるところに介護住宅改修の大切なことがつまっているのです。

**建築のプロが考える福祉介護のお手伝い
住宅リフォームは菅原建設にお任せください!**

